

令和4年度 第1回小牧市地域協議会推進市民会議 会議録

- 1 開催日時** 令和4年5月30日(月)
午前9時30分～午前11時

開催場所 小牧市役所 本庁舎6階 601-1 会議室

2 出席者

- (1) 推進市民会議委員 19名 (欠席：藤本委員)
(2) 委嘱状交付・開会あいさつ 小牧市長 山下史守朗
(3) 事務局 健康生きがい支え合い推進部 入江部長
支え合い協働推進課 倉知課長、臼井係長
丹羽、落合、川口
(4) 傍聴者 0名

3 会議資料

会議次第、名簿、配席表

資料 1 小牧市地域協議会推進市民会議について

資料 2 地域協議会の設立・活動状況 (令和4年3月末現在)

4 会議内容

- 1 委嘱状の交付
- 2 あいさつ
- 3 委員自己紹介
- 4 正副会長の選任
- 5 小牧市地域協議会推進市民会議について
- 6 地域協議会の設立・活動状況
- 7 その他 (次回以降の会議予定)

【事務局】

本日はお忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。

ただいまより第1回小牧市地域協議会推進市民会議を開催いたします。

本日は、藤本委員から欠席の連絡をいただいております。

会に先立ちまして、皆様をお願いいたします。

本会議では新型コロナウイルス感染防止のため、会議中は原則マスクの着用をお願いしております。万一、息苦しさなどを感じられた際には、一時的にマスクを外していただいても構いませんが、発言の際にはマスクの着用にご協力をお願いいたします。市民憲章の唱和であります。感染拡大予防の観点から省略とさせていただきます。

次第に沿って進めてまいります。次第の1、山下市長から委員を代表して、小柳松夫様に委嘱状を交付させていただきたいと思っております。

[委嘱状の交付]

[委員を代表して山下市長から小柳委員への委嘱状が交付された]

【事務局】

皆さまを代表して小柳委員に委嘱状をお渡しさせていただきましたが、時間の都合があり、誠に申し訳ありませんが、お手元への配布に代えさせて頂いております。どうぞご了承ください。

つづきまして、山下市長よりあいさつをさせていただきます。

【山下市長】

皆さま改めましておはようございます。

今日は令和4年度の第一回小牧市地域協議会推進市民会議ということでありまして、皆様方には大変お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。いま代表して小柳委員に委嘱状を交付させていただきました。皆様にはこの地域協議会推進市民会議の委員としてご出席いただいたこと

に改めて御礼申し上げたいと思います。

おかげ様で現在までに 13 の小学校区で地域協議会が立ち上がっております。16 の小学校区と 9 つの中学校がございすけれども、地域組織としては小学校区がいいだろうと概ねそういった考えで設立されたものです。地域協議会の設立の経緯や必要性重要性については皆様方によくご理解いただいているものかと思うのですが小牧市も高齢化が年々進んでいき、地域の支え合い・助け合い活動を地域の皆様のご理解ご協力をいただきながら進めていきたいと思っています。行政もこのような社会情勢の中で必要なことはしっかり進めていくというのも当然であります。

高齢化については介護保険制度もありますけれども、そのような行政の(介護保険)制度が届かないところもございすので、地域の中でカバーしていくことも必要だろうと思っています。

「世界的に見ても我が国の支え合い活動の中でもまだまだ不十分じゃないか」「どういったら充実させていけるだろうか」という議論もありますし、地域のために活動したいと思っておられる市民の皆様の声もよく聞きますので、地域の課題解決として皆様の力をお貸しいただきたいと思っています。私が課題に考えているのは、特定の方ばかりに地域の役が集中してしまっていることでもあります。もう少し広く薄く、すそ野を広げていきたいと思っています。

話は少し脱線しますが、ラピオ内に市民交流テラスワクティブ小牧という施設が開設されました。ここは市民活動の拠点ということで NPO 法人市民活動ネットワークさんに運営をお願いしております。市民活動センターはこれまで市民会館の中でしたが、生涯学習との連携強化をしようと思っています。具体的には生涯学習の講座を開設し、無料でいろんな学びの機会の提供し、地域協議会や市民活動で活躍できる人材の育成を目指しています。そうした学びが地域への還元となり、循環するという生涯学習計画を小牧市も立てております。

地域での人材確保・育成という話でした。

話を戻します。地域協議会推進市民会議ですが、地域協議会の制度的な課題、どう地域協議会を進めていくのかという全体の問題を有識者や市民

の代表の方々にご参加いただき、ご議論をいただく。そういった趣旨で開催をさせていただいております。平成 24 年度に今申し上げた地域協議会の制度設計や各種事業への助言機関として小牧地域協議会市民会議を創設しました。平成 30 年度から小牧市地域協議会推進市民会議として創設されているものであります。本会議体はこれまで小牧市地域協議会に関する条例の制定、小牧市地域助け合い交付金制度の見直し、令和 2 年度から 2 年間では「みんなで育てる地域の手引き」ということで地域協議会を始めとする各種地域活動の手引書の作成をいただいたところです。

地域協議会が立ち上がってないところは村中小学校区、小牧南小学校区、米野小学校区であります。設立された 13 校区の地域協議会も新型コロナウイルスの影響で活動ができていない所もあるということをご心配しております。設立し間もなく、いよいよこれから『よし、やってやろう』という熱い気持ちで立ち上がったところ、コロナ禍に入り 2 年、活動ができなくなってしまった協議会もあると聞いています。気持ちが落ち込んでしまっていないか大変危惧しております。心配しておりますが、コロナ禍も少し落ち着いてきております。国のほうもウィズコロナのなかで少しずついろいろな活動が再開できるよう検討がされています。小牧市としても今年の夏は地域の交流の機会であるお祭りなどの行事をなんとか開催できたらと政府ガイドラインなどをみながら、地元の区長さんらとお話をしながら進めていけたらと思っております。

世間がこのような状況の中ではありますが、皆様にご理解ご協力をいただきまして、まだ、活動が根付いている所ばかりではありませんのでしっかりと根付かせること、小牧市の支え合い・助け合いで皆さんが安心して暮らせる地域となることを願っています。ぜひともよろしくごお願い申し上げたいと思っております。そんな思いで参りました。

皆様のご協力に感謝いたします。よろしくご願ひいたします。

【事務局】

なお、山下市長につきましては、他の公務が入っておりますので、ここで退席とさせていただきます。

(山下市長 退席)

[各委員による自己紹介と事務局職員の紹介の後、委員の互選により会長に加藤委員、副会長に小柳委員が選任された。]

【事務局】

それでは会長に就任されました、加藤委員からご挨拶をいただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

【加藤会長】

改めまして、おはようございます。加藤と申します。

この会は僕も何年かお手伝いをさせていただいております、とてもフランクで前向きな意見が出てくるとても楽しい会です。

いつも会に来るのが楽しみで来ています。少しでも同じ時間を過ごすのであれば有意義な時間にしたいと思いますのでみなさまご協力お願いします。

【事務局】

ありがとうございました。

それでは、以後の司会進行は会長にお願いしたいと思います。

加藤会長、よろしくお願いいたします。

【加藤会長】

よろしくお願いいたします。

会議を始めます前に、この会議は、「小牧市地域協議会推進市民会議設置要綱」第5条第3項に基づき、会議は公開することとされています。

本日は傍聴の方はいらっしゃらないので、このまま進めたいと思います。

それでは、次第の5「小牧市地域協議会推進市民会議について」を、事務局より説明お願いしてもよろしいでしょうか。

[事務局より資料1に基づき説明]

【加藤会長】

ありがとうございました。

今資料の1のほうにこれまでの会議の成果として6個、それぞれ、条例を作ったよとか、制度方針見直したよとか、交付金制度の見直しをした、連絡をとりあう代表者会議開催した、これは素晴らしいと思うのですがマニュアル・手引きを作って動画でアップしているなどの紹介でした。これらについてはよく知っている方と今回フレッシュな方にご参加いただいておりますので、事務局より説明がありましたことについて、何か意見や感想ありましたら、ご発言をお願いします。いかがでしょうか。

いきなり発言するのも大変だと思うので、関連しているので資料の2も併せて説明をいただき、意見交換をしていきたいと思います。

【加藤会長】

それでは、次第の6「地域協議会の設立・活動状況について」を、事務局より説明願います。

[事務局より資料2に基づき説明]

【加藤会長】

ありがとうございました。

ただいま、事務局より説明があったのですが、せっかく各小学校区の協議会の委員さんがいらっしゃるのですが、順番に内容の補足をいただきたいです。小柳委員からよろしくをお願いします。

【小柳委員】

昨年度の活動ですけれども、市内で9番目に設立された地域協議会ですのでまだまだ若輩なのですが、他の地域を追い抜け追い越せと思い活動をしています。桃花台には3つほど小学校がありますけれど、桃ヶ丘小学校区は桃花台の域内だけの特殊な地域であります。そのため、ほかの地域の皆さんとは違った方法で活動を実施しなければならない事情があります。例年は「桃花台まつり」というのを盛大にやっておりましたがコロナで昨年

度も今年も中止を決定しております。それとは別にスポーツ振興会が行っていた、「ふれあい運動会」というものがあり、例年 1000～1500 人の参加がありますが、中止をしております。そのかわり、小学校からの要請で校庭の草刈りを地域協議会の事業として行いました。先生方の駐車場に砂利を入れたりしました。コロナの中で何をすればいいか模索した時期でもありました。多文化共生として小学校に 50 名程度の外国籍児童がおりますが、テーマを決めて交流をしました。僕がうれしかったのは外国籍の子どもさんが「桃花台は非常にきれいなところだよ」、「緑がいっぱいあるよ」と積極的に挨拶をしてくれ、会話に花をさかせてくれました。一番うれしかったのは、桃花台には高齢者が非常に多くなっており重たい荷物を持っているときに、子どもたちが「お手伝いしましょうか？」と声をかけてくれるようになったことです。今年は 48 人の外国籍児童がおりますので、継続的に交流するイベントをやってみたいと思います。外国籍の子どもたちが義務教育を終えた後、桃花台に定着したいとの思いがかなりあるとの話も聞きます。本当にうれしく思います。これが地域協議会を行って得た成果です。課題は本来の外国籍児童の保護者にどう接するかというであります。他にもいろいろありますが、長くなっておりますので、ここで失礼します。

【加藤会長】

ありがとうございます。では、みなさん拍手をおねがいします。

では、次に森川委員、味岡地区の様子をわかる程度で結構です。短めでもいいので教えてください。

【森川委員】

味岡小学校区地域協議会で行っている主な事業は「おたすけ隊活動」をやっております。おたすけ隊活動の中では篠岡小学校区に次いで、市内 2 番目に開始された活動です。味岡ではどうせやるなら市内の地域協議会でトップになろうとの思いで活動をしております。令和 3 年度のおたすけ隊活動の中では、味岡の活動件数が 1 番です。

また、今年度から開始する予定である「青色パト活動（青色回転灯パト

ロール活動)」についても篠岡小学校区に次いで、市内 2 番目になります。先に活動をされている篠岡小学校区さんが、週に 1 回の活動とのことですので、味岡小学校区では 6 月に警察の許可が下り次第、週に 2 回パトロールをする予定です。そのほかの活動は他の地域協議会と同様だと思います。

【加藤会長】

ありがとうございました。それでは、皆さん拍手をお願いします。

次に、船橋委員、わかる範囲で三ツ渚の様子を教えてください。

【船橋委員】

三ツ渚学区はコミュニティ活動自体が昭和 54 年から活動しております。私自身、活動にずっと参加してきた訳ではないのでわからない部分がありますが、主な行事は住民運動会、住民作品展、グランドゴルフをやっていたと聞いています。令和 2 年 5 月から三ツ渚学区コミュニティ推進地域協議会として活動が始まったところですが、コロナの影響もあり 2 年間ぐらいいろんな行事が中止になっております。今年は実施できる範囲で事業を行いたいと考えています。しかし、既に中止を決定している事業もあるので代案を模索中です。どこの地域協議会でもコロナでうまく活動ができない状況があると思います。

【加藤会長】

ありがとうございました。

最後に北里小学校区地域協議会の舟橋委員をお願いします。

【舟橋委員】

北里小学校区地域協議会は設立されてから日も浅い、割と新しい協議会です。もともと、私自身協議会というものを知らなかったのですが、区長を務めさせていただいたときに、小学校単位で防災訓練をやってもらいたいとの消防署からの要請がありました。区長 11 名で「では（小学校区単位の防災訓練を）やろう」と話になりました。防災訓練を契機に地域協議会もやってくれと声がかかり、区長会長だった私が「じゃあ、防災訓練

のつながりで地域協議会もやろう」という話をしました。防災から始まった会議体であったのでまず、地域に根差したハザードマップを作りました。その後、民生児童委員さん、区長さん、郵便局さん、小学校の生徒さんに協力いただき、一人暮らし高齢者の方に花を贈りました。『地域は一人暮らしの高齢者の方とつながっていますよ』という想いでやらせてもらいました。郵便局さんには返信用の葉書をいただきました。返信があるかどうか、少し心配ではありましたが、一人暮らし高齢者の方からたくさんの「ありがとう」や「大切にするよ」との返事があり、小学校の校長先生からも「今後も続けていただければありがたい」との声をいただいております。このように、「防災・交流・福祉」と個別の活動はできていますが、全体での活動はできていないため、コロナの状況が明ければ「すぐに全体で連携した活動ができるようにしておいてください」と準備のため毎月、各部会での話し合いを続けています。

【加藤会長】

はい、ありがとうございます。参考になりました。

資料の1と2両方併せてお感じになったところとか、実はずちの活動でも関与したよとか、参考になったというところなど、あると思うのですが、全員で話すのは結構難しいと思うので、同じテーブルのお隣の方とペアになって共有してください。

お互いまず自己紹介をして、資料の1と2に感じたことや、自分の活動について意見交換の時間を取りたいと思います。5分間計りますので意見交換をお願いします。では、よろしく願いしますから始めましょう。

はい、では、よろしく願いします。

(意見交換 5分程度)

【加藤会長】

それでは時間になりました。まだ話したりないかもしれないですけど、同じまちで暮らしていますので、お会いする機会もあろうかと思えます。せっかくの機会ですので一旦、全体で共有したいと思えます。

平手委員と兼子委員こんな話をしたよというのをどちらか一方がお話いた

だいて、もう一方は補足があればよろしく申し上げます。

【兼子委員】

郵便局の局長平手さんとお話しさせていただきました。郵便局さんがどうしてこの会議に参加されているのか気になったので聞いてみたところ、郵便局では地域と密着した取り組みを進めていきたいとのことでした。

具体的にはこれまでも地域の川のゴミ拾いや、夏祭りに参加したり、地域の方の作品を郵便局に飾らせていただいたり、そういったこともやっているのですよと聞かせていただきました。自分自身は学校と地域の方との繋がりを考えたときに地域の方の力を学校の教育に取り入れさせていただくということをもう少し考えると、いい関係ができるのだろうと思いました。

【加藤会長】

ありがとうございます。拍手をお願いします。

郵便局と学校と地域との関りについて話されましたが平手委員補足はないでしょうか？

【平手委員】

補足ではないですが、郵便局というのは高齢の方が沢山いらっしゃいます。そのなかで「おたすけ隊」活動の話を伺ったので気になりました、独居の高齢の方が一人で郵便局に来られて、様々な日常のお困り話をされるのをよく聞きます。

おたすけ隊とはどのような活動をされるのかわかれば、我々郵便局からも「こんな活動あるよ」と周知させていただくこともできるかと思います。

【加藤会長】

いいですね。郵便局から。

ありがとうございます。ぜひやってみてください。

【森川委員】

地域協議会があっても「おたすけ隊」活動がないところもあります。

相談者のお住まいの学区に「おたすけ隊」活動があるかどうかや、その小

学校区の地域協議会でどのような活動ができるか確認をしてほしいです。

【加藤会長】

ありがとうございます。それは重要な情報ですね。地域協議会でおたすけ隊がある地域とない地域があるので、案内するときは郵便局ごとに対応を変えないといけないということですね。とてもいいアドバイスでした。ありがとうございます。

次に野地委員と安藤委員よろしく申し上げます。

【野地委員】

皆様とてもたくさん活動をしてみえて、小牧市に居住していながら、なかなか知らないことも沢山ありました。皆さんが生活をする上で、「防犯」に対する取り組みに関して積極的に関わってみえると思います。様々な分野があるなかで先ほどの桃花台の話にあったような多文化共生で子供たちと関わる活動については広がりがあり、今後が楽しみだと感じました。

【加藤会長】

ありがとうございます。

安藤委員、青少年育成の観点から補足をお願いします。

【安藤委員】

小牧南小学校地区では地域協議会ができていないのですが、「こどもっと食堂」というものができたんですという話を野地さんとしました。北外山会館で定期的に会合を開いてメニューを決めたり、食材の手配をしたりと手順を踏んで活動をして、だんだんと定着をしてきたと言えます。地域協議会はないけれど活動自体は起こっているのだから「(地域協議会が)ないから何もやっていない」ということではなく、地域自体は機能しているが、組織体として機能していないという課題があるように思います。実態として地道ではありますが、地域の活動は起こっているということです。

【加藤会長】

ありがとうございます。順に関委員、行村委員お願いします。

【関委員】

私たちは多文化共生について議論を交わしました。地域協議会で多文化共生の事例に取り組むことは非常に意義があり、効果的なものだと思います。小柳委員の発言も非常にいい事例だと思います。ただ、文化に違いのある人たちと繋がるには課題がいろいろあります。本当に個別でいろいろな案件があると思います。地域協議会からアンケートのようなものを配ってもなかなか課題を汲み上げることができないと考えています。今後、地域協議会に外国籍の方が委員として参加していただき、実際に地域に暮らしながら問題を抱えている人に対して、地域協議会の方たちが問題の吸い上げをして皆で住みやすい地域を作っていくという形にいずれ発展していければいいよねという話をしました。

【加藤会長】

ありがとうございました。行村さん補足はないでしょうか。大丈夫ですか。それでは次に伊藤委員と公募の高島委員のペアでどのような話をしたか教えてください。よろしくお願いします。

【高島委員】

私は両親の介護をきっかけに公募委員に応募したという話をさせていただきました。今の話で印象的だったのは「おたすけ隊」の取り組みで自分の住んでいる小牧南小学校区でも「おたすけ隊」ができたらいいと思いました。もう一つは、地域協議会がない地域（小学校区）も幾つかあるということ为先ほど知りました。私の父と母の問題点なのですが、地域との関りがすごく少なくて家に引きこもりがちであるということです。私は父母の認知症・物忘れが余計、進んでいくのではないかと心配しています。おたすけ隊の方と関わったり、おたすけ隊に入ることで高齢者の方が小牧市に貢献できたりする活動がもっと小牧市内で広がっていったらという話を中心に話をさせていただきました。

【加藤会長】

補足はないでしょうか。次へ行きましようか。次、山本委員と石田委員お願いします。

【山本委員】

私は女性消防団の活動をさせていただいています。救急救命講習や学区防災訓練、昨年度は幼稚園で防災訓練をさせてもらう機会がありました。それと別に子ども未来館という児童館で子どもの居場所づくり活動をしています。石田さんの「こどもっと食堂」も居場所づくり活動であるということでした。そこで、居場所づくりというキーワードでお話をさせていただきました。すごく身近なところで、いいご縁ができたなあと思いました。

【石田委員】

子ども食堂を始めました、「こどもっと食堂」の石田です。スタートして1年ちょっと経ちました。その前はコロナ禍ということもあり2年くらい「やる・やらない」の議論がありました。今はどうにかスタッフも揃い、滑り出しております。子ども食堂の最初の立ち上がり時の思想は「人に差をつけてはならない」でした。

（子ども食堂の始まりは）格差のある方を対象に東京のほうから始まってきました。今ではそれを基にして大人と子どもの居場所の問題にも波及しています。食事を出すときに子どもについて来る親御さんもかなりおります。「こどもっと食堂」のほうもこれから食事を出すだけでなく、親御さんの居場所にもなればと思っています。どこまでできるかわかりませんが、どちらにしても皆さん方の協力なしに子ども食堂を運営していくことはできませんので、地域全体でご協力をいただきたいと思います。よろしくをお願いします。

【加藤会長】

ありがとうございます。隣の吉田委員、池谷委員お願いします。

【池谷委員】

吉田委員は小牧市地区民生委員児童委員連絡協議会の会長でもあられます。お地元の北里小学校区の出来事をお話しいただきました。民生委員活動で日ごろから地域の高齢者と交流をされ、地域協議会で一人暮らし高齢者の方に花苗配布をされたときにたまたま、孤独死状態の方を見つけられたそ

うです。この花苗配布活動を通じたことによって早期発見につながったという事例です。民生委員活動だけではなく、日ごろの地域との繋がりや住民との繋がりというのは大事なことなんだよねという話をさせていただきました。

【吉田委員】

今、北里の活動の紹介をさせていただきましたが、私が感心したのは郵便局の局員さんらの協力は素晴らしいということです。北里と藤島の地区についてよく把握をしていただき各郵便局員さんがお二人、北里の地域協議会に来てくれるということです。社協の職員さんも夜でも来ていただいて、素晴らしい協力だと感心しています。この場をお借りして感謝申し上げます。今後も孤独死とかにならないよう福祉部会としても10月か11月に花苗の配布を続けていく予定です。その際もご協力をお願いしたいです。

【加藤会長】

ありがとうございます。ではお二人に拍手をお願いします。
次に、稲垣委員・櫻井委員をお願いします。

【櫻井委員】

先ほどから、小牧南・米野小学校には地域協議会がないということで、実際は学区では防犯活動等は地域としては行っているのですが、小学校単位で行われてはいなかったということを実感しました。
小牧南地区から参加されている方も何名かいらっしゃるということであります。こう言った方たちの協力もいただきながら、地域協議会の立ち上げに向けて頑張ってみたいと思います。また、市役所の方から立ち上げの流れについて話を伺いながら進めていけたら考えています。

【加藤会長】

ありがとうございます。拍手をお願いします。
早速ですけど、よろしくをお願いします。

【稲垣委員】

補足です。(小牧南の自治組織は)地域的には、ふらっとみなみで活動をされているものだと思います。ふらっとみなみが非常に上手な活動をされているのでなかなか地域協議会活動が開始されない状況があると思います。一方で話を聞いておりますと、地域でのそれぞれの活動はありますので、あとは組織の問題だと思います。

是非この機会に新しく協議会の立ち上げをしていただいて、できれば今年度の目標として全小学校区で地域協議会が立ち上がって問題点を話し合えたらいいと思いました。ぜひ頑張ってくださいと思います。

【加藤会長】

ありがとうございます。お二人に拍手をお願いします。(一同拍手)

じゃあ、さっきもお話しいただきましたが、地域協議会を運営されている先輩方にどのような話をされたか簡単にお話ししたいと思います。

【小柳委員】

それこそ、コロナの所為と言いつばかりしてはいけないんだろうというご時世です。皆さんも構想があらうかと思いますが、このような会議や学識経験者の先生らにもご教示いただき、鬼に金棒の状態地域協議会が活性化できると思います。ほかの地域協議会のいいところを知ることができたので、今後ともお互いの事例を話し合いながら、いいところだけ取り入れていけばいいとも思っています。

もう一つ、民生委員・区長会というのが小学校単位のものが多いため、北里の場合だと隣に小木小学校があるのでコラボしながら大きい規模で一緒にやれることがあったらと思います。その際は市役所の皆さんよろしくお願いします。

活発に活動されている味岡小学校区会長さんとお話ししたのは、地域協議会は区長を中心にやられているのかという話です。私は味岡では区長のOBさんがかなり協力してくれているイメージをもっていました。しかし、現役の区長さんをお願いしているのは連絡の回覧くらいと聞きました。私も昨年まで区長を任されており、全体を引っ張っていたものです。今年からは協議会一本で活動していますが、一人だけ区長さんに協議会役員と

して活動してもらっています。区長会への連絡はそこで持っています。かといっても現役の区長さんはほとんど私が知っている人ばかりですから、かなり協力的な区長さんばかりです。

やはり地域協議会は区長中心のものではないねという話をしていました。

【加藤会長】

次に、森川委員よろしく申し上げます。

【森川委員】

私の経験でお伝えしたのは、まだ地域協議会が立ち上がっていない時に区長さんに「地域協議会ってのは何をやるんですか。それによって区が協力できるかできないかが変わるんです」と言われました。市役所からは『何も言いませんと、地域協議会で考えてください』と言われていましたので、市役所からも何をやってくださいとの話はないこと、何をやるか決まっていないうが、地域協議会の立ち上げをするんだと伝えましたが、(各区长さんから)「そんなバカなことはあるか」というような声もありました。理解も得られず、そんな苦労したこともあったという話をしていました。

【加藤会長】

はい、ありがとうございます。お二人に拍手をお願いします。

今お二人の話を聞いてかなり面白いなと思ったのですが、伊藤先生、ぜひ感想でも結構ですので総括をお願いします。

【伊藤委員】

改めて、この会議に参加できてよかったと思いました。メンバーがいいじゃないですか。去年もいいメンバーでしたが、郵便局の方とか、子ども食堂をやられている方とか、新たなメンバーの方に来ていただいて、小牧南でも地域協議会の設立の展望も語っていただきました。

北欧の国では「区」のような自治組織はないという話を聞いたときに、日本にいる私たちは地域のつながりの良さを痛感できると思います。少子高齢化によってそれ（区）を支える人材が減っている中で、改めて支え合いが大事だと言われているなか、小牧市の場合は地域協議会という新しい自

治組織が13もできているのは、私からすれば予想以上、とても早く先進的な事例です。課題も抱えているとのご意見もありましたが、既に進んでいるからこそ見えてくる課題であります。

活動があっても地域協議会が未設立の小牧南地区は、地域協議会というフレームに収まらないところにどういった問題があるのか、また、現在の活動を縮減しないことも必要であると考え、協議会のほうが背景となり、バックサポートをする形になるといいと思います。行政としてはこういった（地域協議会という）システムを持っていますのでご活用くださいという姿勢で（開設に）もっていったほうがいいのかなと思います。こういった思考の転換は必要かもしれないと思いました。

【加藤会長】

拍手をお願いします。ありがとうございました。

最後に、全体を通して何かご発言等ありましたら、お願いします。

【森川委員】

「おたすけ隊」について、活動を依頼される方から「がっかりした」と言われることがありますので「おたすけ隊」がどのような事を行っているかお伝えします。庭の草取り、庭の木の伐採・処分、蛍光灯の交換、買い物の代行、重いものを動かすこと。その程度で、活動費も一人1時間200円ほどですがいただいております。できないことは、病院へ連れていくこと、買い物に連れていくこと、家の中で洗濯物を干してほしいなどです。活動内容は殆どの小学校区で一緒です。「おたすけ隊」をPRされる際は活動内容を併せて周知をいただかないと困ってしまうことがあります。

【加藤会長】

ありがとうございました。僕は全然がっかりしなかったです。

素晴らしいことをやっておられるなと思いました。

そろそろ、お時間になりましたので会を終わらせたいと思います。

せっかくなので、お隣のお話をした人にお互い拍手を送りあってください。

では、進行を事務局にお返ししたいと思います。ありがとうございました。

【事務局】

加藤会長、ありがとうございました。みなさんも長時間に渡り誠にありがとうございました。それでは最後に健康生きがい支え合い推進部長である入江からご挨拶をさせていただきます。

【入江部長】

本日は長時間に渡り、様々なご意見ありがとうございました。大変参考になりました。また、南部地区におかれましては、地域協議会の設立に積極的に取り組んでいただくとのこと、大変我々としてはありがたく、うれしいご意見をいただきました。ありがとうございます。今年度初めての会議とのことで、委嘱状を交付させていただきました。その後は地域協議会推進市民会議の現状、現在の地域協議会の活動内容を説明させていただきました。新型コロナウイルスの影響も3年目に入りました。これまで様々な制限・制約がありまして、皆さんが思い描いたような活動がなかなかできなかったところではあります。資料にもありますとおり昨年度はこのコロナ禍という厳しい状況ではありましたが、Webの活用・オンラインの活用をするなど工夫して、北里での花苗配布であるとか、一色でのふれあい農園のような地域の実情に合った、新たな活動が始まりました。地域のコミュニティ活動を推進していく立場としては大変頼もしく思ったところではあります。最後ではありますが、これから2年間推進市民会議を中心にして残りの学区での地域協議会の設立推進、また地域協議会全体の活動の活性化に向けた取り組みについて検討を進めていきたいと思っております。また改めて皆様方のご協力をよろしくお願ひしたいと思っております。皆様本日はありがとうございました。

【事務局】

これで第1回小牧市地域協議会推進市民会議を閉会させていただきます。皆さまにおかれましては長時間、お疲れさまでございました。ありがとうございました。